

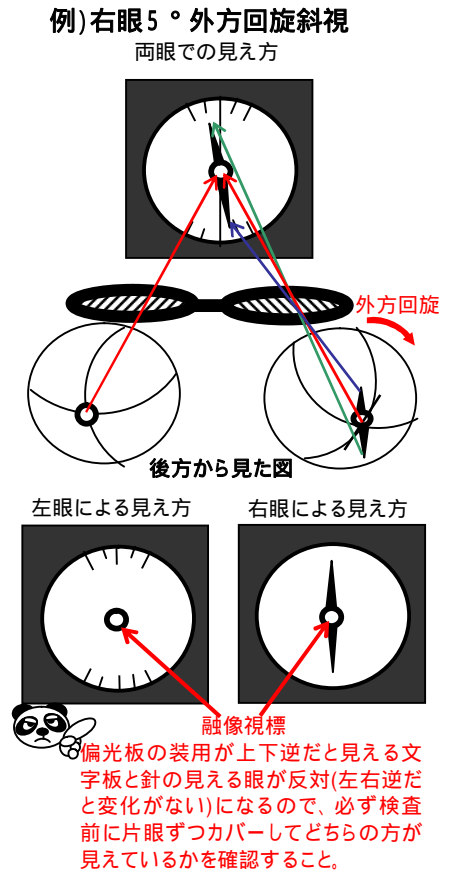
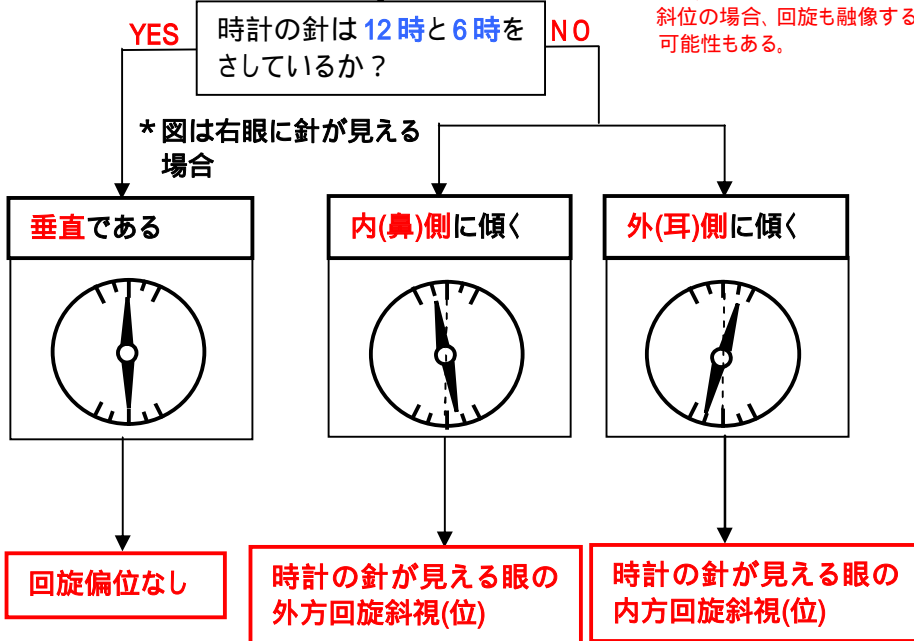
回旋偏位検査 自覚的検査 (Pola testの時計テスト)

目的 上下斜筋麻痺やA V型斜視に伴う遠見での回旋偏位の検出と定量

準備物 偏光フィルタ・ポラテストの時計テスト

屈折矯正下遠見にて、通常、回旋偏位があると思われる眼に時計の針が見えるように偏光フィルタを装用させ、検査機器の対応距離にて時計テストの中心部を見るように指示する

通常 5m。
融像視標があってもずれる場合はプリズムで中和する。
融像視標があっても両眼分離しているのでは正位でないとずれる可能性がある。
また、融像視標があるので斜位の場合、回旋も融像する可能性もある。



時計の針は12時又は6時からどちらに何目盛傾いているかを答えさせる

例) 左側に1目盛ずれている!

傾いている方向を指などで示すようにさせると間違えないよ。

その傾きと目盛が回旋偏位の方向と大きさ(単位は度)

記載例) Pola 時計テスト
R: **excylo 5°**

屈折矯正の有無も記載すべきだが、記載は色々。

判定基準) 視能学 P322 より

正常者の平均: 第一眼位で $0.33 \pm 0.31^\circ$ 外方回旋偏位

自分の結果を書いておこう!